

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。(三重テレビ7ch+dボタン)

名張青峰高等学校(仮称)を魅力ある高校に

中森 博文 議員
(自民みらい/名張市選出)



問

平成28年4月に名張桔梗丘高等学校と名張西高等学校が統合し、名張青峰高等学校(仮称)が開校する予定です。先般、名張市議会の会議に出席したところ、新高校が伊賀地域からの生徒流出の受け皿になりうるのか、中学生に新高校の魅力が周知されていないのではないかと、統合のメリットは何か等の意見がありました。新高校の魅力について、お伺いします。

答

本県の高校では初めて生徒全員が一人一台のタブレットパソコンを授業で活用できるICT環境を整備します。また、同校は単位制普通科高校とし、その中に「文理探究コース」を設置して、文系・理系を問わず国立大学等への進学に特化した学習指導やキャリア教育を充実させることとしています。



その他の質問事項
○公共工事の品質確保と担い手確保について ほか

農山漁村と企業の連携による地域活性化を

笹井 健司 議員
(新政みえ/松阪市選出)



問

農山漁村は、農林水産物の供給や県土保全等に貢献している地域ですが、人口流出と少子高齢化が同時に進行するとともに、基幹産業の農林水産業が停滞して地域コミュニティの弱体化が進んでいます。そこで、県が進めている、農山漁村と企業の連携により地域活性化を支援する「三重のふるさと応援カンパニー推進事業」の考え方をお聞かせください。



熊野精工株式会社様の活動の様子

答

農山漁村と企業を県が仲介することで、お互いが持つ資源や特徴を結びつけ、農山漁村にとっては労働力不足等の解消につながり、企業にとっては農山漁村の豊かな自然環境を社会貢献や福利厚生現場として活用できるなど、双方がメリットを受ける関係を創出していこうとするのが、当事業の考え方です。

その他の質問事項
○今後の「三重県づくり」にかけるときの知事の思いについて ほか

水力発電の民間譲渡にあたって

西場 信行 議員
(自民みらい/多気郡選出)



問

戦後の三重県政の最大プロジェクトとも称された水力発電事業が、環境や時代の変化の下に民間譲渡されることになりました。平成17年頃から企業庁、県、議会において公営企業のあり方が議論され、それを受けての結論であり、長い年月を要しました。民間譲渡によって所期の目的が達成されていくのか、その総括と今後の見通しについてお伺いします。

答

企業庁では多くの譲渡課題がある中、関係機関と協議を重ね、その結果、すべての水力発電所を譲渡できたことについて、関係者のみなさまに感謝しています。譲渡後も地域貢献活動等は民間事業者に引き継がれ、発電所の安全・安定運転をされるとともに、地域振興にも寄与していただけるものと思っています。



三瀬谷ダム

その他の質問事項
○地方創生対策 ほか

東海環状自動車道を活かした産業振興を

日沖 正信 議員
(新政みえ/いなべ市員弁郡選出)



問

平成27年度中に東員インターチェンジの開通が予定されるなど、東海環状自動車道の整備が進んでいます。県内を通る西回りルートが完成すれば、新名神高速道路と相乗効果を生みつつ、産業の創出や雇用の拡大、観光交流、農産物の流通など広い分野に効果が及ぶものと考えますが、開通による効果や、この道路を活かした産業振興についてどのように考えていますか。



東海環状自動車道の整備

答

西回りルートの開通により、新たな工場や物流拠点の進出、中部国際空港や四日市港へのアクセスの向上、日本海側との物流の効率化など、新名神高速道路と相まって、三重県の立地優位性が格段に向上すると考えており、北勢地域全体の産業振興戦略を中長期的な視点で検討していきます。

その他の質問事項
○戦後70周年記念事業について ほか